

## 概要

私たちの住む街なかの「魅力資産」の再発見とユニーク活用アイデア（千種区・名東区）

岡本 勢津子、河合 勝司、中澤 賢一、吉田 稔

千種区と名東区の地形発生的な共通点は、**東部丘陵地帯の上に発展してきた村落**であったことである。特に**千種区**は徳川尾張藩の旧市街地の外部にあったため、近代明治の急激な産業発達後によりやく都市化・商業発展が始まった。その近代の歴史は、**ほぼ100年の歩みに集約される。**

これに対して、**名東区**の推移は戦後の経済急成長と急激な人口増加によって、名古屋市全域とともに大きく成長をなしてきた。なかでも、東山通り沿いに沿って東へ発展し、昭和30年代から40年代にかけて著しく宅地開発が進んだ。したがって、名東区の都市化・商業発展が始まったのは、せいぜい**50年の歴史**である。

そんな時代背景を持つ両区の魅力資産を発掘するにあたり、次の点に留意した。100年後を見通す道標として100年前に遡り、その時の流れの中で受け継がれたモノ、残ったモノ、失われたモノに着目すると同時に、今後のまちづくりにおいて活用の可能性を見出せそうなモノの発掘を意識することを各研究員の共通認識として魅力資産を抽出した。これはひとつの目安として100年前まで遡ることで我街の歴史を知り、尊重し、興味をもつことは住民自身による継続的なまちづくり形成のための第一歩であると考えからである。

そこで、前述の方法により各研究員が魅力資産の候補として三々五々提示したものをまとめ精査したところ、最終的に128の魅力資産が抽出された。この魅力資産を我グループでは「**千種名東100選**」と名づけ、各々の性格をより明確化するため6つのグループに分類した。

- ・自然資産：河川・池・森・公園・名木(古木)・坂・丘 - 38
- ・建築物：神社仏閣(山門)・古民家・現代建築 - 35
- ・建造物：街道・道標・緑道・仏像・記念碑 - 30
- ・民俗資産：伝統芸能・祭り - 02
- ・遺跡：失われたもの・跡地・地名 - 18
- ・軌跡：著名人の足跡 - 05

さらにこれらを**現在の地図**だけでなく**100年前(明治31年)の地図**上にもプロットし、**魅力資産マップ**を作成した。これにより両区の100年という時の流れの視覚化を試みている。下図はその一例で自然資産の比較である。



1898(明治31)



2005(平成17)

さらに各自が特に着目した地域や分野について調査を掘り下げ、活用のアイデアを提案した。

- ・坂が生み出す**景観と愛称**      **現代版千種名東名所図会作成のためのワークショップ**  
100年後に残る名所図会を目指す。また、そのための名所発掘。その方法として写生・詠歌・地名の命名あるいは復活といったワークショップを市民が中心となって行ってはどうか？
- ・寺社仏閣が集まる**城山覚王山界限**      **夜街散策・提灯散歩**  
城山・覚王山が寺町で路地・階段坂が多い特性を活かした夜街散策祭りの開催。路地・階段坂が多いということは歩行者優先(あるいは車の走れない)であるということであり散策には適した場所である。この散策により通常とは違う街の顔が発見でき、わが街への新たな興味と愛着につながるはずである。
- ・自然と史跡豊かな**香流川流域**      **里川を目指した香流川まちづくりコミュニティ**  
里川をめざして「香流川まちづくりコミュニティ」活動を発足。香流川地域の歴史探検隊・香流川地域の民芸体験隊・香流川流域の自然観察隊・香流川学習会と広報活動など。具体的には香流川リレー競走・香流川さくら祭り・香流川博士の育成など。
- ・時計の針が止まった**高針地区**      **旧地名の復活**  
名東区の町名変更は昭和36年5月1日から実施される。以前、名東区には六つの大字と多くの小字があったが町名変更でほとんど消失した。特に名東区は日本全国どこでも見られるような地名が多い。土地の特徴を表わした旧地名の復活。
- ・100年後にも残ってほしい**名木・古木**      **平成の名木発掘・未来への植樹**  
明治から昭和にかけて多くの名木が指定されてきたが実は明治、昭和と時代の移り変わりの中で名木の種類が変化している。これは多くの名木が時代の環境変化で枯死しているからである。これまでの100年間の教訓をもとに100年後に名木となるよう、発掘・植樹ワークショップの開催。
- ・**東山環状緑道とマイライフパーク** - 安全・安心・文化の香り高い楽しいまちづくり  
東山動植物園と猪高緑地を中心に更なる公園、緑地の活用に関して、特定のグループ、活動団体の利用のみならず一般市民の日常生活に溶け込んだ気軽に利用してしまう公園、緑地を再構築し、名東区まるごと都市公園化を目指す。その核として動物愛護自然環境学習生活公園・災害時緊急通路・東山環状緑道の整備を構想。

当然、両区にはこれ以外にもまだまだ魅力的な場所やモノがあふれているはずである。また活用アイデアの具体化も今後の課題である。機会を創って継続的な調査を行っていきたい。